

# 水泳の魅力 次世代へ



田畠政治さんへの思いを語る藤原靖久副会長(右)と宮崎篤副理事長=浜松市中区の浜名湾游泳協会で

「子供たちに水泳の魅力を伝え、競技力を向上させる」。四日開幕した「とびうお杯全国少年少女水泳競技大会」は、一九六四年の東京五輪開催の陰の立役者になった浜松市出身の田畠政治さん(故人)の思いがルーツになっている。大会実行委員会に名を連ねるNPO法人「浜名湾游泳協会」の設立者の一人でもある。二〇一〇年の東京五輪を前に、関係者は「田畠さんの理念を根付かせ、花開かせていただきたい」と願つ。(篠塚辰徳)

田畠さんは決して強いスマートではなかった。病弱のため、選手としては自立した成績を残せず、早くから

## 1964年東京五輪陰の立役者



### 浜松出身

たばた・まさじ 1898年、浜松市中区成子町生まれ。東京帝國大(現在の東京大)法学部卒。朝日新聞社の政治部記者などの傍ら、日本オリンピック委員会総務主事や日本水泳連盟会長、東京オリンピック大会組織委員会事務総長などを歴任。1977年に日本オリンピック委員会名誉委員長。84年、85歳で死去。

## とびうお杯に田畠さんの理念

の下の力持ちという存在で、派手な人ではないが、意志が強い人だつたと思う」と語る。

とびうお杯は田畠さんが亡くなつた二年後、八六年に始まつた。大会名は、田畠さんと親交のあつた浜松市出身の水泳選手で、戦後間もなく世界新記録を連発して「フジヤマのトビウオ」と呼ばれた古橋広之進さん(一九一八~一九〇九年)に由来する。古橋さんは日本水泳連盟会長や日本オリンピック委員会会長を歴任した。

田畠さんは、大会組織委員会事務総長に抜てきされ、運営組織づくりを担つた。浜名湾游泳協会の藤原靖久副会長(左)=浜松市南区=は田畠さんについて「縁つた六四年の東京五輪では、大会組織委員会事務総長に抜てきされ、運営組織づくりを担つた。」と語る。田畠さんは、大会組織委員会事務総長に抜てきされ、運営組織づくりを担つた。

浜松市総合水泳場トビオ(西区)で

東京帝国大(現東京大)を卒業後、新聞記者として働きながら二年、水泳の日米対抗大会を企画。翌年にはロサンゼルス五輪の日本水泳總監督を務めた。スポーツを通じた平和の祭典を目の当たりにした田畠さん。戦後、壊滅状態だった国内スポーツ界と日本そのものの再建のため、東京五輪開催を目指した。都知事の関係者を回り、賛同者を集め、開催が決まつた。アジアで初の開催にな



田畠政治さんの功績をつづった

田畠和宏さん=4日、浜松市西区で

パネルを紹介する長男の田畠和

田畠和宏さん=4日、浜松市西区で

田畠和宏さん=4日、浜松市西区で